

令和4年度

歳出決算額を町民1人
当たりで計算すると…… **97万3,346円**

住民基本台帳人口
6,262人
(令和5年4月1日現在)

議会費 1万783円

議会の運営などに使われた経費



総務費 32万7,134円

行政の運営、庁舎や財産の維持管理などに使われた経費



民生費 18万363円

子どもからお年寄りまで幅広い福祉の充実などに使われた経費



衛生費 6万2,961円

保健衛生、健康づくりやごみ対策などに使われた経費



農林水産費 3万4,790円

農業や畜産などの振興と育成のために使われた経費



商工費 7,123円

商工業の振興や育成のために使われた経費



土木費 10万5,555円

道路や公園などの維持管理や整備、道路の除雪などに使われた経費



消防費 3万5,206円

火災や自然災害などの防災活動のために使われた経費



教育費 8万1,730円

学校などの維持管理や教育振興に使われた経費



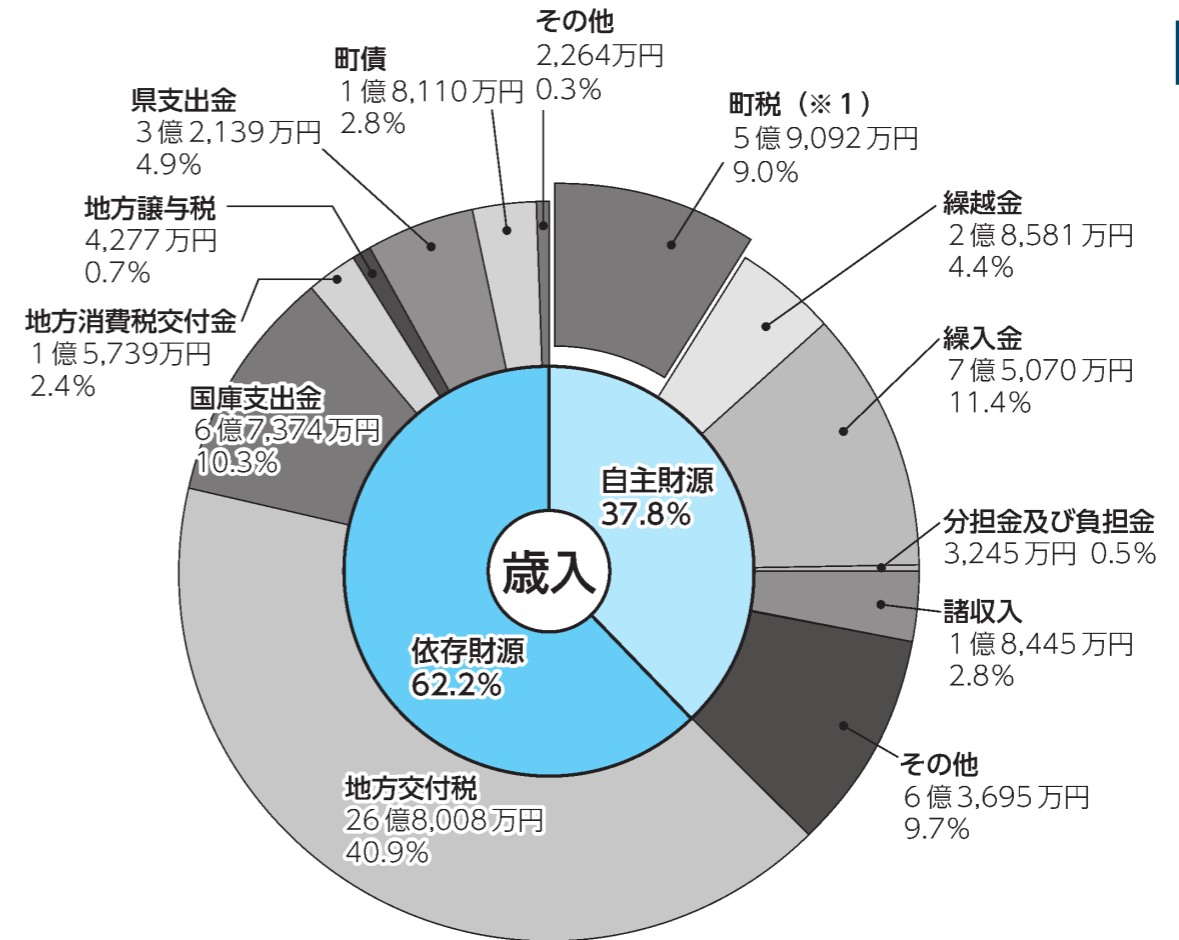
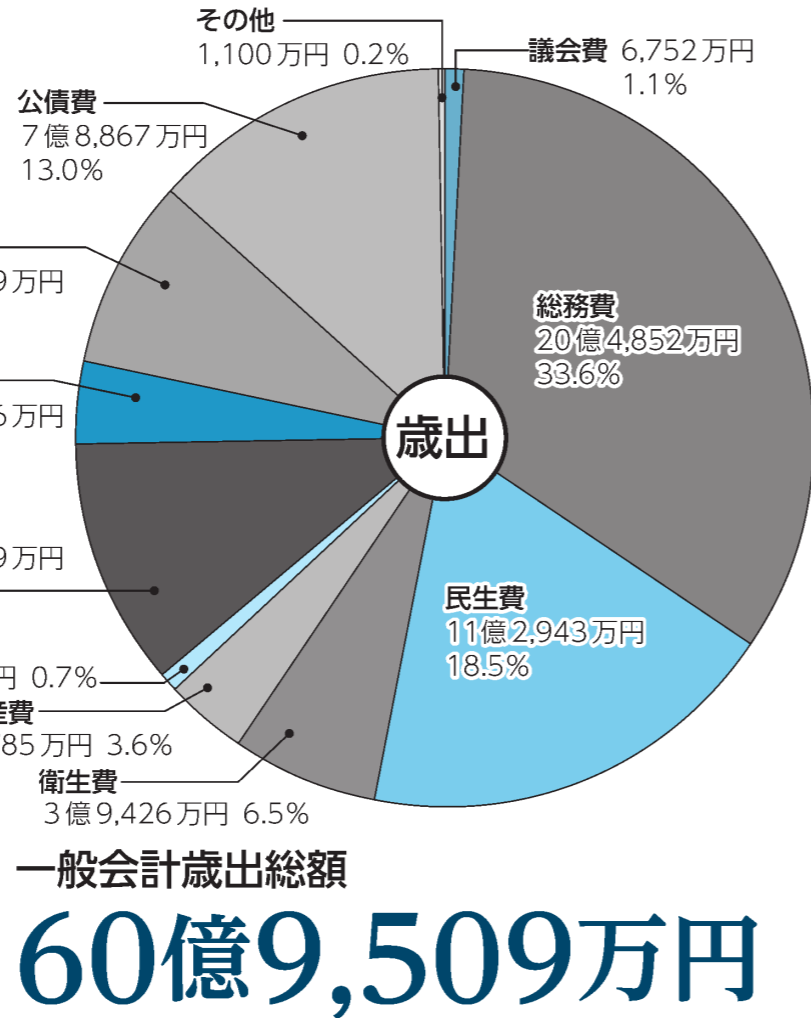
公債費 12万5,944円

借り入れた町債の元利償還費などに使われた経費



その他 1,757円

労働費・災害復旧費・諸支出金・予備費など



令和4年度

決算報告

町議会9月定例会で令和4年度の大石田町決算が承認されました。町の予算は、町民の皆さんが納めた税金をはじめ、国や県からの補助金や地方交付税などで構成されています。財源の内訳や町に入ってきたお金がどのように使われたのか、一般会計を中心に概要をお知らせします。

財政指標等でみる町の財政状況

財政力指数

令和4年度 0.221
令和3年度 0.232

財政力指数

標準的な行政サービスを提供する経費のうち、町が自前で調達できる財源(町税や使用料等)がどのくらいかを表した数値。1に近いほど自前で資金を調達でき、財源に余裕があるということを示しています。

大石田町では財源の約22%を自前で調達し、残りを国や県に依存していることを表しています。

実質公債費比率

令和4年度 11.9%
令和3年度 11.6%

実質公債費比率

町の財政規模に対して、公債費(借金返済額)に相当するものなどがどれくらい割合なのかを示す比率です。25.0%を超えると国または県の管理下で財政運営をすることになります。

※実質赤字比率、連結実質赤字比率は黒字のため比率がありません。また、簡易水道特別会計、農業集落排水事業特別会計の資金不足額はありません。

将来負担比率

令和4年度 41.3%
令和3年度 56.1%

将来負担比率

町の財政規模に対して町が将来支払っていく負担等を表す比率です。350.0%を超えると国または県の管理下で財政運営をすることになります。

令和4年度一般会計歳出決算額は、60億9,509万円となりました。主な事業は、新型コロナウイルス感染症対策や物価高騰に対する生活支援策としてプレミアム付き商品券の発行や住民税非課税世帯への臨時特別給付金事業。また、さらなる子育て世代の負担軽減を図るため、第5段階以上の保護者に対する保育料の半額助成や、在宅保育をされる方に対する助成事業を創設するなど、住みよいまちづくりを目指した各種施策を計画的に実施しました。

新型コロナウイルス感染症対策や生活支援策、子育て支援策などを幅広く実施

一般会計歳入総額

65億6,039万円

(※1) 町民税 2億4,459万円、固定資産税 2億9,616万円、軽自動車税 2,983万円、市町村たばこ税 260万円、鉱産税 33万円、都市計画税 1,741万円

令和4年度歳入歳出決算額及び対前年度比較表

(単位：千円、%)

区分	歳入決算額	歳出決算額	歳入		歳出		
			前年度比較	増減率	前年度比較	増減率	
一般会計	6,560,392	6,095,094	254,386	△8.1	74,896	△8.4	
特別会計	国民健康保険	877,656	818,853	△9,386	△4.8	15,460	△5.1
	次年度簡易水道	7,899	7,898	881	16.6	880	16.6
	農業集落排水事業	79,908	79,908	△37,953	△32.2	△29,448	△26.9
	介護保険	963,410	891,980	△6,220	△0.6	△35,950	△3.9
	後期高齢者医療	100,145	91,144	3,289	3.4	△5,687	△5.9
一般会計+特別会計	8,589,410	7,984,877	204,997	1.4	20,151	△0.8	